



2026年2月12日

各 位

会社名 スルガ銀行株式会社
代表者名 取締役社長 加藤 広亮
(コード番号 8358 東証プライム)
問合せ先 取締役 常務執行役員
総合企画本部長 佐藤 富士夫
(TEL 03-3279-5536)

保有有価証券の売却等に伴う損失の計上に関するお知らせ

当社は、保有有価証券の売却等に伴う損失を、2026年3月期第4四半期に計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、2025年11月7日に公表しました2026年3月期通期の連結及び個別業績予想の変更は現時点では見込んでおりません。

記

1. 概要

当社では、最近の金融市場の動向を踏まえ、有価証券ポートフォリオの更なる品質向上を図るため、評価損を抱える長期債を中心とした債券の一部圧縮等を実施することとしました。これらの取り組みにより、2026年3月期第4四半期(2026年1月1日～2026年3月31日)の有価証券関係損益において約30億円の損失を計上する見込みです。

なお、今後の有価証券運用方針について変更はなく、より安定的な収益構造の構築を目指し、市場環境を鑑みつつ、円債を中心としたポートフォリオを漸進的に構築していく方針です。

2026年3月期 有価証券関係損益見込み(個別) 単位:百万円

	第3四半期実績	通期見込み	増減額
有価証券関係損益*	△4,029	△7,029	△3,000

*国債等債券損益及び株式等損益の合計

2. 業績に与える影響

本日(2026年2月12日)公表の2026年3月期第3四半期決算においては、本業であるローンビジネスが順調に推移していることに加え、アセットクオリティの改善に伴い実質与信費用も想定を下回り推移しております。

今般、保有有価証券の売却等に伴う損失を今後計上する見込みではありますが、2026年3月期通期の連結及び個別業績予想は、当第3四半期決算の状況を鑑み、前回発表予想(2025年11月7日公表)を確保できる見通しであるため、現時点での業績予想の変更は見込んでおりません。

今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

(注)上記の業績に与える影響等につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

以 上